

IV 第54回市政に関する世論調査の結果

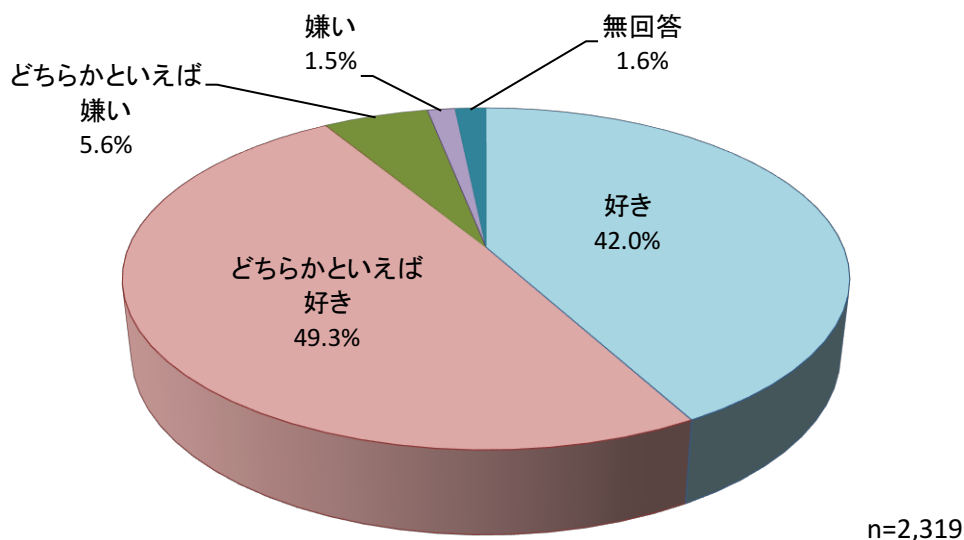
1. 宇都宮市に対する感じ方について

(1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇ 「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き(計)】が約9割

問1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は1つ)
		n=2,319
1	好き	42.0%
2	どちらかといえば好き	49.3%
3	どちらかといえば嫌い	5.6%
4	嫌い	1.5%
	(無回答)	1.6%

<図IV-1-1>全体



宇都宮市を好きか、嫌いか聞いたところ、「好き」が42.0%、「どちらかといえば好き」が49.3%で、これらを合わせた【好き(計)】が91.3%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」5.6%、「嫌い」1.5%で、これらを合わせた【嫌い(計)】は7.1%と1割弱であった。(図IV-1-1)

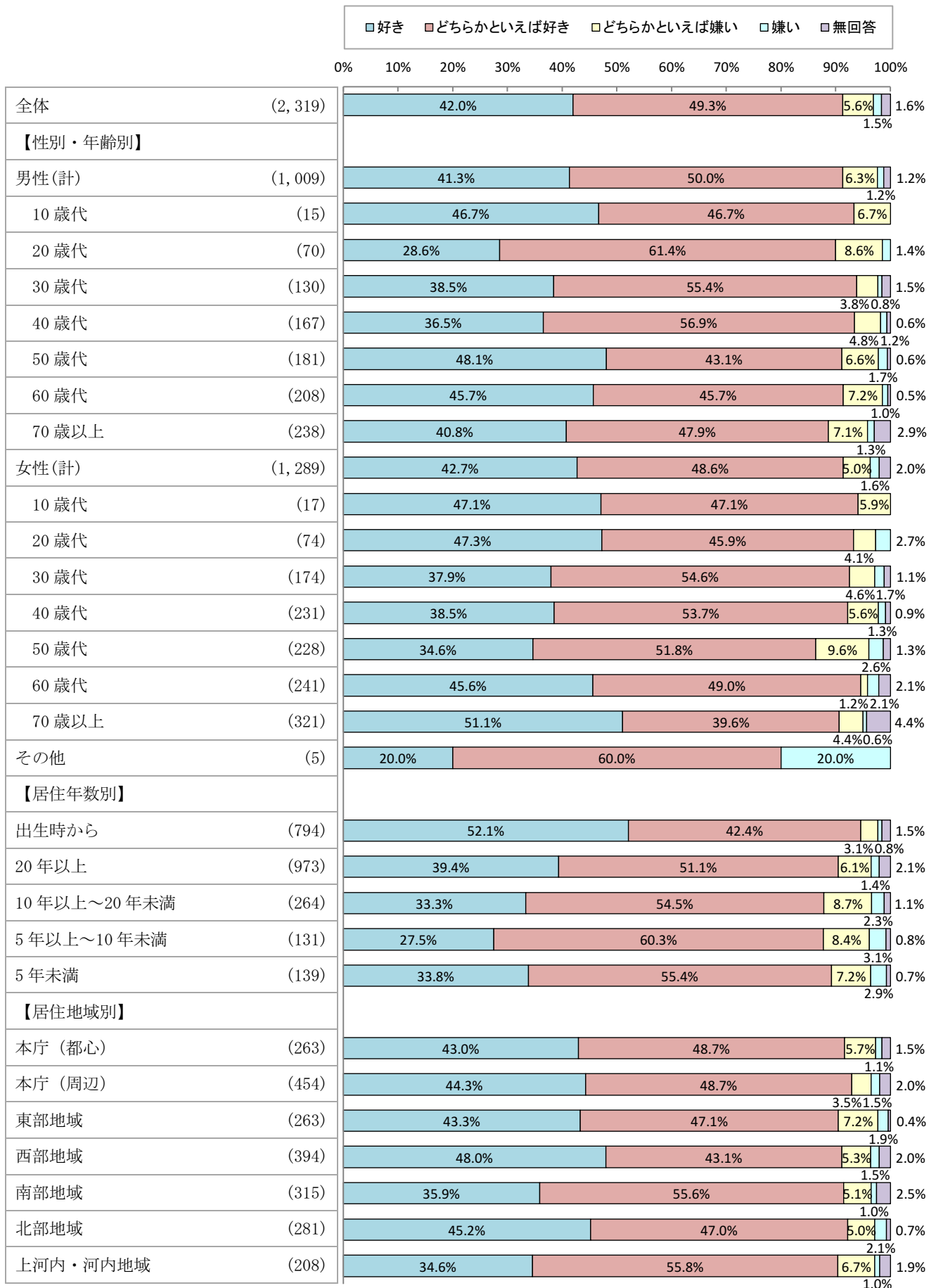
<参考>

性別・年齢別で見ると、【好き(計)】は<女性/60歳代>が94.6%で最も高く、次いで<女性/10歳代>が94.2%であった。【好き(計)】は、性別・年齢別に関係なく8割以上であった。一方、【嫌い(計)】は<その他>が20.0%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が12.2%であった。(図IV-1-2)

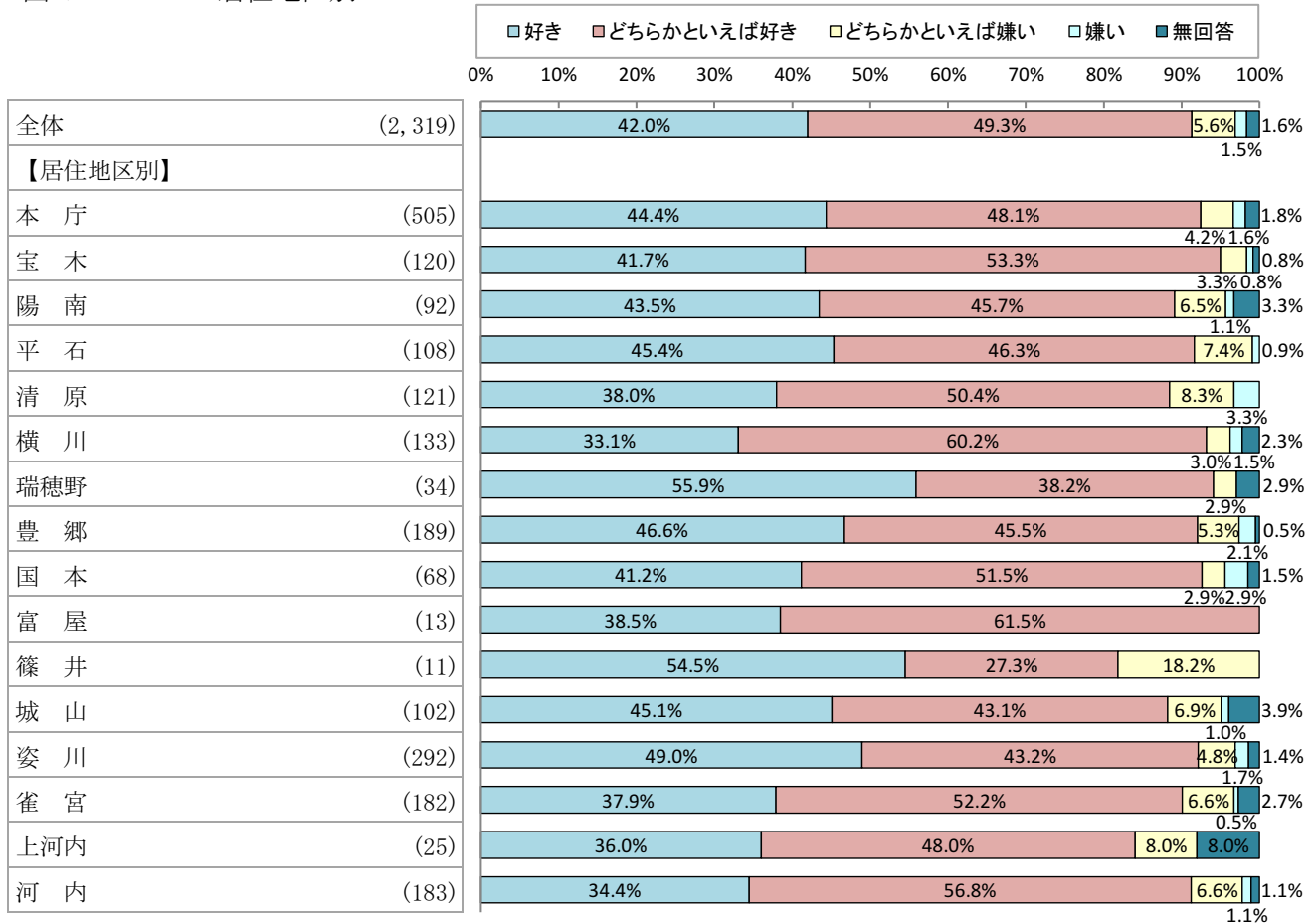
居住年数別で見ると、【好き(計)】は<出生時から>が94.5%で最も高く、次いで<20年以上>が90.5%であった。一方、【嫌い(計)】は<5年以上~10年未満>が11.5%で最も高く、次いで<10年以上~20年未満>が11.0%であった。(図IV-1-2)

居住地域別で見ると、【好き(計)】は<本庁(周辺)>が93.0%で最も高く、次いで<北部地域>が92.2%であった。一方、【嫌い(計)】は<東部地域>が9.1%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が7.7%であった。(図IV-1-2)

<図IV-1-2>性別・年齢別/居住年数別/居住地域別



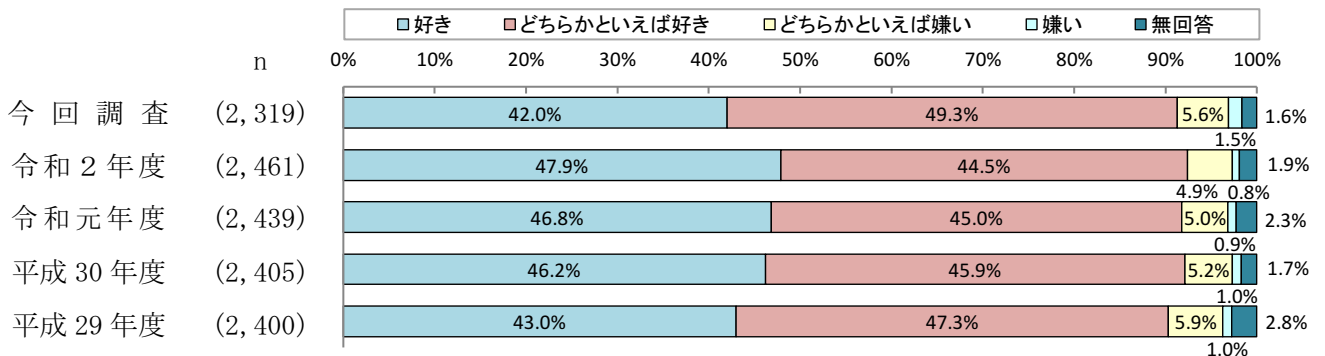
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
令和3年度	42.0%	49.3%	5.6%	1.5%	1.6%
令和2年度	47.9%	44.5%	4.9%	0.8%	1.9%
令和元年度	46.8%	45.0%	5.0%	0.9%	2.3%
平成30年度	46.2%	45.9%	5.2%	1.0%	1.7%
平成29年度	43.0%	47.3%	5.9%	1.0%	2.8%

<図IV-1-4>経年比較



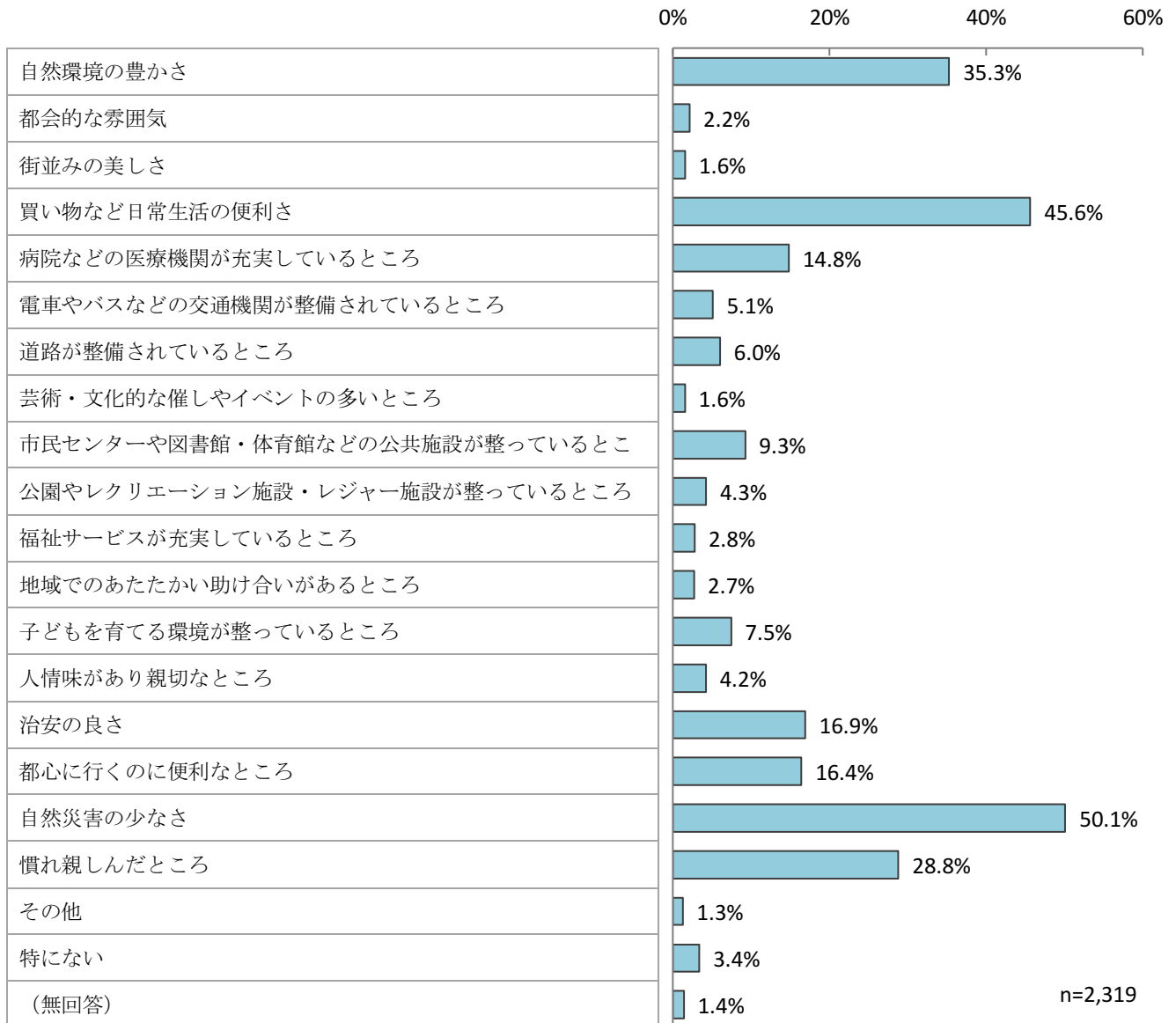
【好き(計)】及び【嫌い(計)】については、過去4年間と比較しても、特に大きな違いは見られない。

(2) 好きな理由

◇ 「自然災害の少なさ」が約5割

問2 宇都宮市の好きだと思うところをあげてください。		(〇は3つまで)
		n=2,319
1	自然環境の豊かさ	35.3%
2	都会的な雰囲気	2.2%
3	街並みの美しさ	1.6%
4	買い物など日常生活の便利さ	45.6%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	14.8%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	5.1%
7	道路が整備されているところ	6.0%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	1.6%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	9.3%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	4.3%
11	福祉サービスが充実しているところ	2.8%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	2.7%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	7.5%
14	人情味があり親切なところ	4.2%
15	治安の良さ	16.9%
16	都心に行くのに便利なところ	16.4%
17	自然災害の少なさ	50.1%
18	慣れ親しんだところ	28.8%
19	その他	1.3%
20	特にない	3.4%
	(無回答)	1.4%

<図Ⅳ－1－5>全体



宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で50.1%、2位「買い物など日常生活の便利さ」で45.6%、3位「自然環境の豊かさ」で35.3%、4位「慣れ親しんだところ」で28.8%、5位「治安の良さ」で16.9%、6位「都心に行くのに便利なおところ」で16.4%という順であった。(図Ⅳ－1－5)

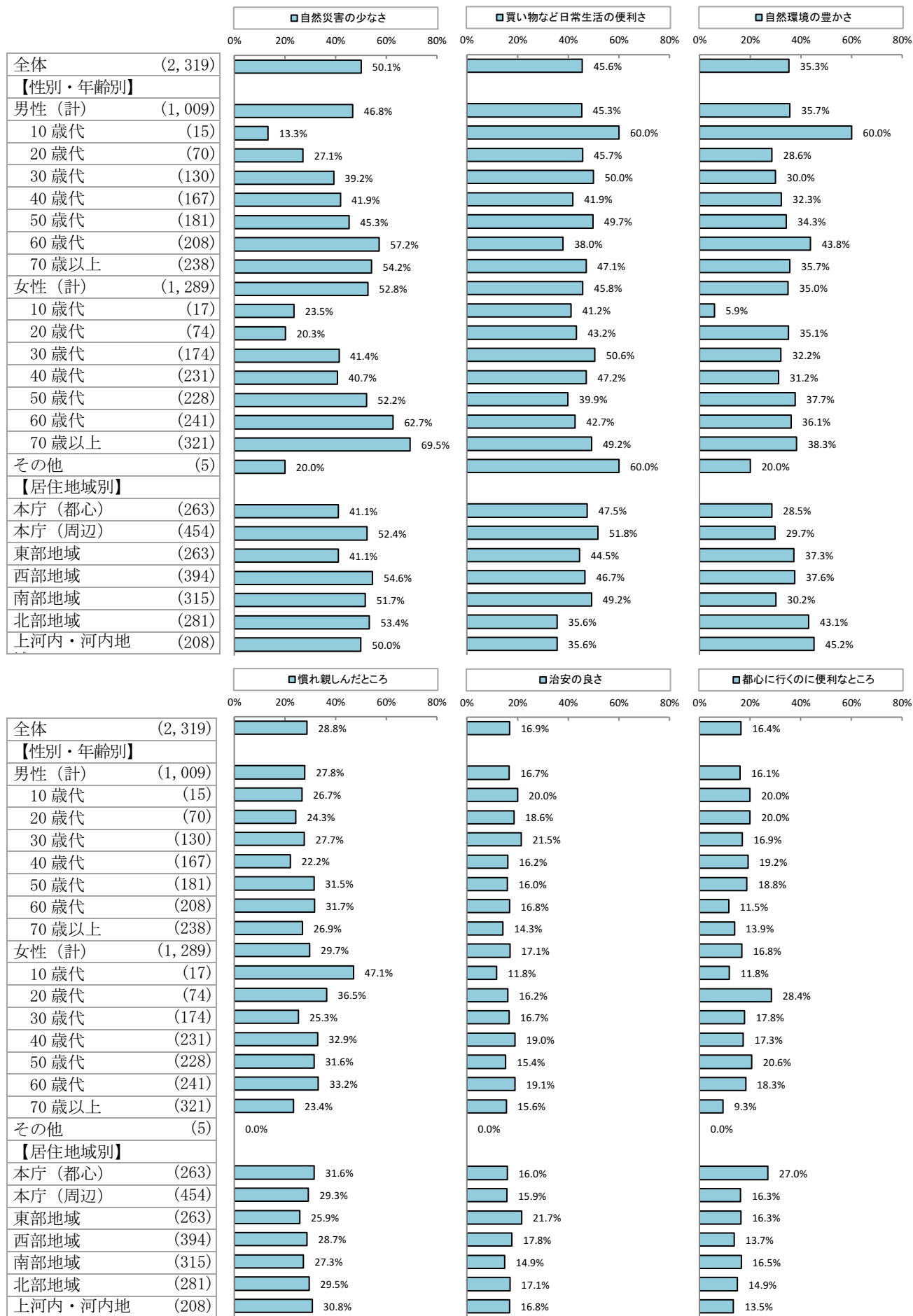
<参考>

上位6項目について性別・年齢別でみると、「自然災害の少なさ」は<女性/70歳以上>が69.5%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が62.7%であった。「買い物など日常生活の便利さ」は<男性/10歳代>、<その他>が60.0%でいずれも最も高かった。「自然環境の豊かさ」は<男性/10歳代>が60.0%で最も高く、「慣れ親しんだところ」は<女性/10歳代>が47.1%、「治安の良さ」は<男性/30歳代>が21.5%、「都心に行くのに便利なおところ」は<女性/20歳代>が28.4%で最も高かった。(図Ⅳ－1－6)

居住地域別でみると、「自然災害の少なさ」は、各地域で約4割から5割半ばとなっているが、<西部地域>が54.6%で最も高く、「買い物など日常生活の便利さ」は<本庁(周辺)>が51.8%、「自然環境の豊かさ」は<上河内・河内地域>が45.2%、「慣れ親しんだところ」は<本庁(都心)>が31.6%、「治安の良さ」は<東部地域>が21.7%、「都心に行くのに便利なおところ」は<本庁(都心)>が27.0%で最も高かった。(図Ⅳ－1－6)

その他の意見では、「地震に強い地盤」、「道路整備」、「LRTの整備」、「区画整理など、生活環境の面で目覚ましい発展が期待できる。」などがあつた。

<図IV-1-6>性別・年齢別／居住地域別（上位6項目）

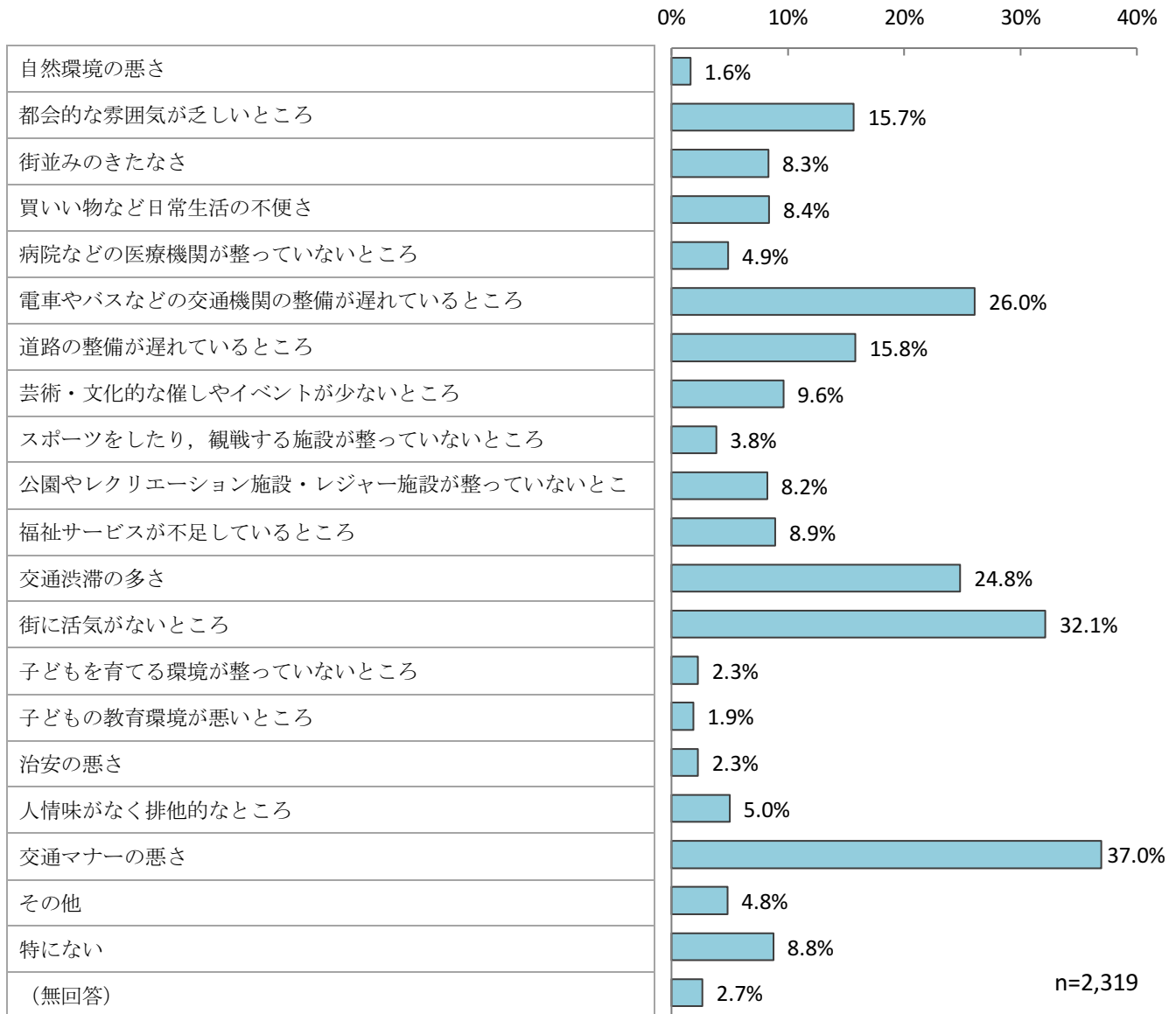


(3) 嫌いな理由

◇ 「交通マナーの悪さ」が4割弱

問3	宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください	(〇は3つまで)
		n=2,319
1	自然環境の悪さ	1.6%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	15.7%
3	街並みのきたなさ	8.3%
4	買い物など日常生活の不便さ	8.4%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	4.9%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	26.0%
7	道路の整備が遅れているところ	15.8%
8	芸術的・文化的な催しやイベントが少ないところ	9.6%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	3.8%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	8.2%
11	福祉サービスが不足しているところ	8.9%
12	交通渋滞の多さ	24.8%
13	街に活気がないところ	32.1%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	2.3%
15	子どもの教育環境が悪いところ	1.9%
16	治安の悪さ	2.3%
17	人情味がなく排他的なところ	5.0%
18	交通マナーの悪さ	37.0%
19	その他	4.8%
20	特にない	8.8%
	(無回答)	2.7%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で37.0%、2位「街に活気がないところ」で32.1%、3位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で26.0%、4位「交通渋滞の多さ」で24.8%、5位「道路の整備が遅れているところ」で15.8%、6位「都会的な雰囲気が乏しいところ」で15.7%という順であった。(図IV-1-7)

<参考>

上位6項目について性別・年齢別でみると、「交通マナーの悪さ」は<男性/60歳代>が42.8%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が42.0%であった。「街に活気がないところ」は<女性/60歳代>が44.4%で最も高く、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<その他>が40.0%で最も高かった。「交通渋滞の多さ」は<男性/20歳代>が41.4%、「道路の整備が遅れているところ」は<男性/20歳代>が24.3%、「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<女性/10歳代>が47.1%で最も高かった。(図IV-1-8)

居住地域別でみると、「交通マナーの悪さ」は<本庁(都心)>が45.2%で最も高かった。「街に活気がないところ」は<本庁(都心)>が38.4%で最も高く、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<東部地域>が36.9%、「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が29.7%、「道路の整備が遅れているところ」は<東部地域>が19.0%、「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<本庁(都心)>が17.9%で最も高かった。(図IV-1-8)

その他の意見では、「公共交通(バス、LRTなど)に対する不満」「大規模施設の駐車場不足」「災害やコロナに対する対応への不満」「街並みに対する不満」などがあった。

<図IV-1-8>性別・年齢別／居住地域別（上位6項目）

